

リーディングDXスクール事業【実践事例】

京都市立南大内小学校（京都府）

【取組内容①】 一人一台端末とクラウドの活用による個別最適な学び ～学びの成果をまとめる～

- 様々な学習場面で、一人一台端末を積極的に活用し、個別最適な学びの充実に取り組んだ。
- 特に、学びの成果をまとめる場面におけるクラウド活用を進めることで、児童が好きなときに自身の変容についての振り返りを行ったり、他者の様子を参考にすることができ、学びの深まりにつなげることができた。

(クラウド共有を活用した主な取組実践)

【音楽科】

鍵盤ハーモニカの演奏

音楽科の鍵盤ハーモニカの演奏で、**見本動画をクラウド上にあらかじめ掲載**しておくとともに、**各自の指使いを撮影してクラウド上に提出**させクラス全体で共有した。

<成果>

- それぞれの児童が授業中や休み時間、更には家庭でも、好きなときに必要な動画を確認でき、個別最適な学びにつながった。
- 自他の演奏の様子を後から客観的に確認することができ、児童・教職員ともに振り返りに生かすことができた。



← 2人ペアで
指使いを撮影

各自の演奏を
クラウド上で共有
↓

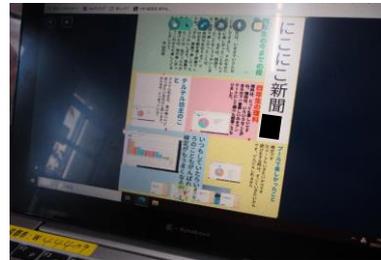
【国語科】

新聞づくりの活動

国語科で、他のクラスにも知らせたいニュースを新聞にまとめる際、**一人一台端末を用いて新聞を製作**した。また、1時限ごとに**途中経過をクラウド上に提出**させクラス全体で共有した。

<成果>

- 端末上で新聞づくりを行うことで、レイアウトや見出し、記事内容などを何度も試行錯誤でき、より伝わりやすい紙面づくりについての学びの深まりにつながった。
- 途中経過をクラウド上で共有することで、友達のまとめ方や表現からアイデアを得ることができた。



一人一台
端末を活用
した新聞づ
りの様子

【体育科】

学習カードの記録

体育科の学習（下の写真はてつぼう運動）で、**1時限ごとのめあてや振り返りを記録する学習カードをデジタル化**し、端末上で作成することとした。**作成した学習カードはクラウド上で保存**することとした。

<成果>

- 紙のカードと比較して、端末上に記録が保存されていることで、児童が好きなときに手軽に振り返りを行うことができた。また、今後は学年が変わっても振り返りが容易になる。
- 教員にとっても、クラウド上からいつでも児童の学習の記録を確認することができた。



てつぼう運
動の学習の
記録を端末
上で作成し
保存

